

## 謝 辞

博士論文を遂行するにあたり、データの収集や解析方法、論文投稿の手順といった研究の進め方全般について、一からご指導頂いた体育科学系助教授田中喜代次先生には心から御礼申し上げます。さらに、体育科学の分野における研究で最も大切なこと「被検者（人）とのつき合い方」、人を研究の対象とする場合の最も大事な部分を博士課程在学中に学べたことは、今後の研究活動に大いに役立つものであると考えております。これについても研究のみならず研究者として教育して頂いた田中喜代次先生に深く感謝しております。

博士論文を完成させるにあたり、修士論文作成時、研究計画書作成時、予備審査会においては、体育科学系教授浅野勝己先生、体育科学系教授高松薫先生、体育科学系教授浅見高明先生から、論文全体に対する貴重なご指摘・ご指導を頂いたことに深く感謝いたします。

本研究のデータを収集するうえで運動負荷テストの実施に際し、多大なご協力を頂いた東取手病院院長檜山輝男先生、副院長渡辺寛先生、さらには本研究の主旨をご理解頂き、cross-site studyにご協力頂いた長谷川陽三氏をはじめとするミズノ株式会社スポーツ科学研究室の皆様、名古屋市立大学竹島伸生先生、大阪教育大学三村寛一先生、Seoul National Polytechnic University（韓国）金炫秀先生および本研究の被検者の方々には、この場をかりて感謝の意を表します。そのほか、田中研究室をはじめとする大学院生や陸上競技部中長距離ブロックの先輩・後輩のおかげで研究のみならず学生生活も充実いたしました。ここに感謝の気持ちを記します。

最後に、博士課程在学中に他界した父母には、冥福を祈りつつ博士論文の完成をここに報告したい。

1999年 5月 中垣内真樹